



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 東陽倉庫株式会社

コード番号 9306 URL <http://www.toyo-logistics.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武藤 正春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員  
管理本部長兼経理部長

(氏名) 渡邊 誠

TEL 052-581-0251

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日 2020年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,476	△10.6	484	△32.9	758	△16.4	533	△0.4
2020年3月期第2四半期	15,081	8.7	722	30.0	908	27.2	535	7.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 741百万円 (51.7%) 2020年3月期第2四半期 488百万円 (△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	13.99	—
2020年3月期第2四半期	14.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	42,338	20,405	48.2
2020年3月期	41,320	19,859	48.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,405百万円 2020年3月期 19,859百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
2021年3月期	—	4.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△9.0	1,000	△21.4	1,500	△6.9	1,050	0.9	27.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	39,324,953株	2020年3月期	39,324,953株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,238,080株	2020年3月期	1,103,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	38,106,231株	2020年3月期2Q	38,178,579株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
第2四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う経済活動の停滞に加え、緊急事態宣言の発出に伴う個人消費の急速な落ち込み等により厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後、景気は徐々に持ち直しの動きがみられるものの、新規感染者数は高止まりの状況が続くなど、依然として厳しい状況が続いております。また、海外経済は、米中貿易摩擦が長期化するなか、多くの国や地域において、経済活動の再開と新型コロナウイルス感染症の抑制との両立を目指す局面となり、景気は徐々に回復の動きがみられるものの、欧米諸国を中心に新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、企業理念である『「もの」づくり、人の「暮らし」を支える』を踏まえ、社会と人々の生活に役立つことを目指し、持続的成長を続けるため、①運送体制と流通拠点の強化による3PL物流の推進、②海外拠点の拡充を含めたグローバルな業務の強化、③不動産賃貸料等の安定収入の拡大、を中心に営業力の強化を図るとともに、経営の効率化をより一層推進し、経費の節減に努めてまいりました。

また、当社グループは、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、営業収益の拡大を図るとともに、収益性及び経営効率の観点から、「売上高経常利益率5%」、「自己資本利益率5%」を目標値として設定しております。

事業のセグメント別及び連結の業績は次のとおりであります。

## &lt;物流事業&gt;

保管料が増加したものの、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を受け、輸出入貨物等を中心に荷役料、陸上運送料等が減少したことにより、営業収益は前年同四半期と比べ1,614百万円減少(△10.9%)し、13,181百万円となりました。セグメント利益は賃借料等の費用が増加したことにより、前年同四半期と比べ157百万円減少(△17.9%)し、722百万円となりました。

## &lt;不動産事業&gt;

請負工事が増加したこと等により、営業収益は前年同四半期と比べ9百万円増加(3.2%)し、296百万円となりました。セグメント利益は前年同四半期と比べ2百万円増加(1.9%)し、123百万円となりました。

## &lt;連結&gt;

上記の結果、営業収益は前年同四半期と比べ1,605百万円減少(△10.6%)し、13,476百万円となりました。営業利益は前年同四半期と比べ237百万円減少(△32.9%)し、484百万円となりました。経常利益は前年同四半期と比べ149百万円減少(△16.4%)し、758百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ2百万円減少(△0.4%)し、533百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び営業未収入金が628百万円減少したものの、現金及び預金が1,802百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ1,017百万円増加(2.5%)し、42,338百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び営業未払金が235百万円、その他流動負債が208百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が1,051百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ471百万円増加(2.2%)し、21,933百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が380百万円、その他有価証券評価差額金が184百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ546百万円増加(2.7%)し、20,405百万円となりました。

当社グループは、持続的成長へ向け、中長期的な展望を踏まえ、積極的な設備投資を実施する方針であります。同時に、有利子負債残高、金利水準等に留意しながら安定的な財政状態を維持するよう努めてまいります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を精査しており、合理的に算定することが困難であるため未定としてまいりました。しかしながら、緊急事態宣言の解除に加え、不要不急の移動自粛要請の緩和、政府主導の景気対策等により経済活動は徐々に再開されつつあることから、今般、現時点における業績動向及び当社グループが入手可能な情報に基づき、当第3四半期以降は一定の水準まで荷動きが回復するとの前提で通期の連結業績予想を算定いたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,263,299	6,066,114
受取手形及び営業未収入金	6,208,710	5,580,339
リース債権及びリース投資資産	97,227	97,362
原材料及び貯蔵品	105,039	80,839
その他	529,745	551,019
貸倒引当金	△1,556	△876
流動資産合計	11,202,466	12,374,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,964,183	9,952,398
土地	9,274,349	9,285,328
その他(純額)	1,583,392	1,403,652
有形固定資産合計	20,821,925	20,641,379
無形固定資産		
投資その他の資産	300,750	279,461
投資有価証券	6,200,062	6,355,621
リース債権及びリース投資資産	1,067,099	1,018,384
その他	1,731,104	1,671,575
貸倒引当金	△2,480	△2,448
投資その他の資産合計	8,995,785	9,043,133
固定資産合計	30,118,461	29,963,974
資産合計	41,320,928	42,338,774
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,901,522	1,665,940
短期借入金	3,172,032	4,223,832
未払法人税等	286,616	229,714
引当金	296,456	287,710
その他	1,237,129	1,028,876
流動負債合計	6,893,756	7,436,073
固定負債		
長期借入金	10,153,653	10,146,487
引当金	33,760	30,160
退職給付に係る負債	2,186,915	2,151,451
資産除去債務	117,157	118,198
その他	2,076,192	2,050,817
固定負債合計	14,567,677	14,497,113
負債合計	21,461,433	21,933,187
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,191,028	2,194,072
利益剰余金	14,017,040	14,397,246
自己株式	△259,406	△305,297
株主資本合計	19,361,186	19,698,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717,158	902,097
退職給付に係る調整累計額	△218,849	△195,056
その他の包括利益累計額合計	498,309	707,040
純資産合計	19,859,495	20,405,586
負債純資産合計	41,320,928	42,338,774

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益	15,081,836	13,476,591
営業原価	13,920,922	12,572,252
営業総利益	1,160,914	904,339
販売費及び一般管理費	438,342	419,693
営業利益	722,571	484,646
営業外収益		
受取利息	288	190
受取配当金	69,713	90,464
持分法による投資利益	106,328	41,662
助成金収入	3,920	140,509
その他	25,934	25,231
営業外収益合計	206,185	298,058
営業外費用		
支払利息	18,604	17,580
その他	2,131	6,237
営業外費用合計	20,736	23,817
経常利益	908,021	758,886
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,570
固定資産売却益	4,499	6,165
特別利益合計	4,499	25,735
特別損失		
固定資産除売却損	10,495	15,895
投資有価証券評価損	99,485	—
投資有価証券売却損	3,321	—
特別損失合計	113,302	15,895
税金等調整前四半期純利益	799,218	768,726
法人税、住民税及び事業税	304,586	274,898
法人税等調整額	△40,654	△39,261
法人税等合計	263,932	235,636
四半期純利益	535,286	533,089
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,286	533,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,482	184,938
退職給付に係る調整額	19,135	23,793
その他の包括利益合計	△46,346	208,731
四半期包括利益	488,939	741,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,939	741,821

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	14,795,543	286,293	15,081,836
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	1,032	1,032
計	14,795,543	287,325	15,082,868
セグメント利益	879,881	121,537	1,001,418

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,001,418
全社費用及び全社営業外損益(注)	△93,397
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	908,021

(注) 全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	13,181,299	295,291	13,476,591
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	1,227	1,227
計	13,181,299	296,518	13,477,818
セグメント利益	722,660	123,888	846,549

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	846,549
全社費用及び全社営業外損益(注)	△87,662
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	758,886

(注) 全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。